インフォグラフィックについて

産業デザイン科　齋藤　幸子

1　はじめに

昨年度の講師研究における，若年者ものつくり競技大会「グラフィックデザイン」職種における取り組みを通して，インフォグラフィックス（info - graphics）の知識及び技術の習得が不可欠であること認識したところである.

当大会における過去3年間のインフォグラフィクス課題の内容を振り返ると，

第14回（2019年福岡）食品ロスに関するデータの視覚化

第13回（2018年金沢）世界巡回展の地図

第12回（2017年愛知）名古屋カフェ地図

第11回（2016年）沖縄大会以前までは課題として見られなかったという傾向が表れてきた.

そこで，インフォグラフィックス作成方法を調査し，授業への活用を行う.

2　インフォグラフィクスとは

インフォグラフィックスとは，情報やデータを視覚的に表現し伝えることで，視覚伝達デザインの基盤となるものである．身近な例としては，地図や鉄道路線図，非常口やトイレの場所を示すマークなどのピクトグラムなどがあげられる.

3　作成ポイントと現代における活用例

3．1作成のポイント

3．1．1情報の分析と整理

情報，数値を整理・分析し，自分の考えていることを他者にわかりやすく伝えるために，キーワードやテキスト化してまとめる.

3．1．2表現力

まとめた情報を，どのように視覚化するのが適しているのかを検討し，グラフィック表現をする.

3．2現代における活用例

3．2．1ビジネスプレゼンテーション

ビジネスでは，状況やデータをわかりやすく伝えるために、インフォグラフィクスの有効性が高いことから，多数のインフォグラフィクスソフトがあり，プレゼンテーションソフトの中で使用されている.

3．2．2インフォグラフィックス履歴書

アメリカではスタンダードなものとして定着して，デザイン職を目指す学生の就職活動の中でも，自由に表現する自己 PR 書として求められるようになってきた.

4　デザイン基礎実習における実施内容

インフォグラフィクスの指導は，視覚的に表現するというグラフィックデザインの基礎であるためデザイン学習の入口時点にある1年次が有効であろう．また，2年次の就活時に，視覚的な自己 PR 書を求められた場面で対応できるようにスキル習得や作品を準備したい.

今年度については，指導効果と体制，授業カリキュラムより，1年前期デザイン基礎実習（グラフィックデザイン分野　以下 GD）でインフォグラフィクスの授業を実施した.

4．1教科・対象・時期・回数

⑴教科…デザイン基礎実習（GD）

⑵担当…榎本恵美（外部講師）　齋藤　若島

⑶産業デザイン科1年生…38名

4．2デザイン基礎実習（GD）の内容

⑴色々な手法（2回）

画材の紹介と様々な手法を学ぶ

⑵インフォグラフィクス（2回＋発表）

自分について考え，表現する.

⑶シンボルマーク（2回＋発表）

店舗のシンボルマークのデザイン

4．3準備

4．3．1モチベーショングラフの記入

オリエンテーションにおける就職ガイダンスで記入，モチベーショングラフとは，過去の体験からモチベーションの動きをグラフ化した自己分析方法の一つである.

4．3．2講師との意見交換

視覚伝達の根幹であるインフォグラフィクスを授業に取り入れたい由を伝え，賛同を得て意見・情報交換を重ねた.

4．4課題と提示資料等

⑴課題

テーマ…自分」

自分のことを自由に設定してグラフをベースにアイコンと組み合わせて制作する.

⑵配布物など

テキスト…インフォグラフィクスについての説明プリント，課題指示書，参考資料…インフォグラフィク

ス作例（講師作）自分についての 50 の質問（名前チャームポイント，今朝何時におきた？等）
⑶提出物等
エスキース…A4 用紙（鉛筆や色鉛筆），仕上げ…A3 用紙（色鉛筆，マーカー，デザイナーズカラーなど），プレゼンテーション…2 分程度＋講師コメント

5　デザイン基礎実習における実施結果

5．1インフォグラフィクスと自分理解

⑴意味内容の把握
講師作例の提示によりインフォグラフィクスへの理解の深化
⑵自己分析への戸惑い
モチベーショングラフや 50 の質問への記入等，言語化することで時間をかけて解決
⑶言語による情報の洗い出しを視覚表現への展開することへの苦慮
表現力に個人差が大きい現状において，課題の趣旨は，自分について見つめ考えることと，それを視覚的に表現することに考え方を学ぶ事を繰り返しながらの指導を実施.

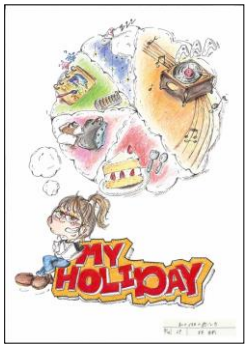
5．2作品の分類

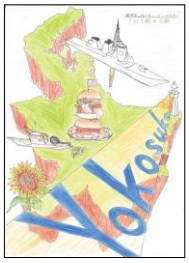
自己分析を行い言語化した情報はインフォグラフィクスとして 38 点となった.

5．2．1テーマによる分類

⑴趣味や好きなこと…26 名
⑵1 日の行動…9 名
⑶その他…3 名

図 1　私の好きなキャラクター（年表）





左　図 2　私の休日の過ごし方（円グラフ）
右　図 3　横須賀の好きなところ―地元愛―（地図）

5．2．2表現手法による分類

⑴イラスト主体…3 名
⑵グラフ・数値主体…25 名

5．2．3評価による分類

⑴A…15 名　⑵B…11 名　⑶その他…12 名
イラストレーションと数値表現両方を取り入れた作品に対して高評価となった．プレゼンテーションは全体的にはっきりとした口調で発表することができた.

6　フリーソフトの試用と Adobe 系のソフトウェアによるインフォグラフィック作成

6．1フリーソフトの試用

CANVAS…日本語で説明あり，テンプレートサイズ変更不可，テキストや色の変更は可
Easelly…メニュー日本語，テンプレートサイズ変更可，テキストや色の変更は可
アイデアだしや参考には有効である.

6．2イラストレーターのグラフツールの使用

グラフツールで棒グラフや円グラフなど一般的なグラフの作成が可能，使い方を理解すれば色や大きさなど自由度が高い.
また，イラストなどを使用することもできる．以前からあるツールであるが，今回使用してみて，比較的数値に弱い学生たちが，興味を持って取り組むことができるきっかけになる可能性を感じた.

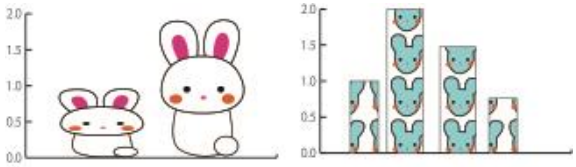


図 4　グラフツールの利用

7　まとめ

デザイン基礎実習（GD）に関して，入学直後の表現力における能力差が大きな時期における試みであった．学生自身が自分自身を見つめ，発想力の重要性を認識することができるようになったと共に，潜在的な力を発揮することとなったと考える．来年度も授業カリキュラムに応じて若干の変更を加えながら続けていきたい.
また，グラフィックデザインの基本的な分野に興味を持ち，能力を伸ばし，就職活動にも活用していけたら幸いである.